

---

When love finishes, a life finishes.

宮 毬

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

When love finishes , a life finishes .

### 【Nコード】

N8372Y

### 【作者名】

宮毬

### 【あらすじ】

短編小説です、初めてなので汚いです。

帰り道、いつも空を見て立ち止まる。もし、君と出会っていなかったら君はきつと今頃私のことなんて知らなくて、私は恋が終わる瞬間の悲しさは知らないままでいた。…だけれど、君が私のことを知らないままでいるというのは辛くて、それでも君が私のことなんてもう嫌いなんで知っているのに、まだ好きでいてしまうこの苦しさ。

恋つてもつと甘いものだと思っていた。

だけれどどうしても周りの邪魔には勝てなくて、挫折してしまった。どうして、ねえ、どうして邪魔するの？

こんなにも好きだったのに…。

そうして今は一人で辛い時も悲しい時も、一人で抱えこみ「大丈夫」だよって言うてくれた君はもういないんだね…。

輝いていた毎日と、耳に残る「好き」は私の視界と共に消えていく。君がいない世界なんて見たくない。

君だけが、いてくれれば何もかも乗り越えていける、そんな気がしてた。きつと、それはただの自己満足だった。

追いかけようとした人混みの中で手を伸ばしてもつかむのは孤独。今日はどこへ行けばいいだろう。今日も君には会えない…。

君がいない世界なんて知らなくても…。

きっと会える時、私のほうが君より若いかもしれない。

どうしても、君だけがよかったなんて言ったら。

君は笑うでしょうか。

それとも

怒るでしょうか。

…泣いてくれるでしょうか。

こんなにも哀れな私を。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8372y/>

---

When love finishes, a life finishes.

2011年11月24日22時46分発行